

最優秀賞

新日本理化(株)京都工場

1. 企業の概要

1919年(大正8年)創業以来、宇治川の水の電気分解から得られた水素を利用した独自技術を基盤に油脂化学・石油化学の両分野を手掛ける化学素材メーカーです。



『もの創りを通して広く社会の発展に貢献する』を経営理念に暮らしと産業を支える多様な製品を提供しております。



2. 健(検)診の受診率

★定期健康診断：『受診率100%』

★がん検診：『受診率100%』

※厚生労働省が推奨する5種類のがん検診

★二次検診：
会社の費用負担で、かつ所定労働時間内に受診可能

3. 当社の健康経営への取組み事例

働きやすいだけでなく、働きがいのある職場に向けて

健康経営の推進体制

社長を委員長とする健康経営推進委員会を設置し、健康保険組合・安全衛生委員会・外部専門機関（産業医・嘱託医・産業カウンセラー等）と連携の上、従業員の健康状態の把握および健康増進に関する各種施策を推進しています。

◆人間ドック

40歳以上の従業員を対象に、会社の費用負担（上限有り）病気の早期発見・早期治療をサポートしています。

◆メンタルヘルス対策

カウンセラーとの定期的な個人面談の機会を設けています。さらに、メンタルヘルス相談窓口（外部機関）の設置など、こころの健康づくりを推進しています。

◆感染症対策

従業員とその被扶養者を対象に、健康保険組合がインフルエンザ予防接種の費用補助を行っています。

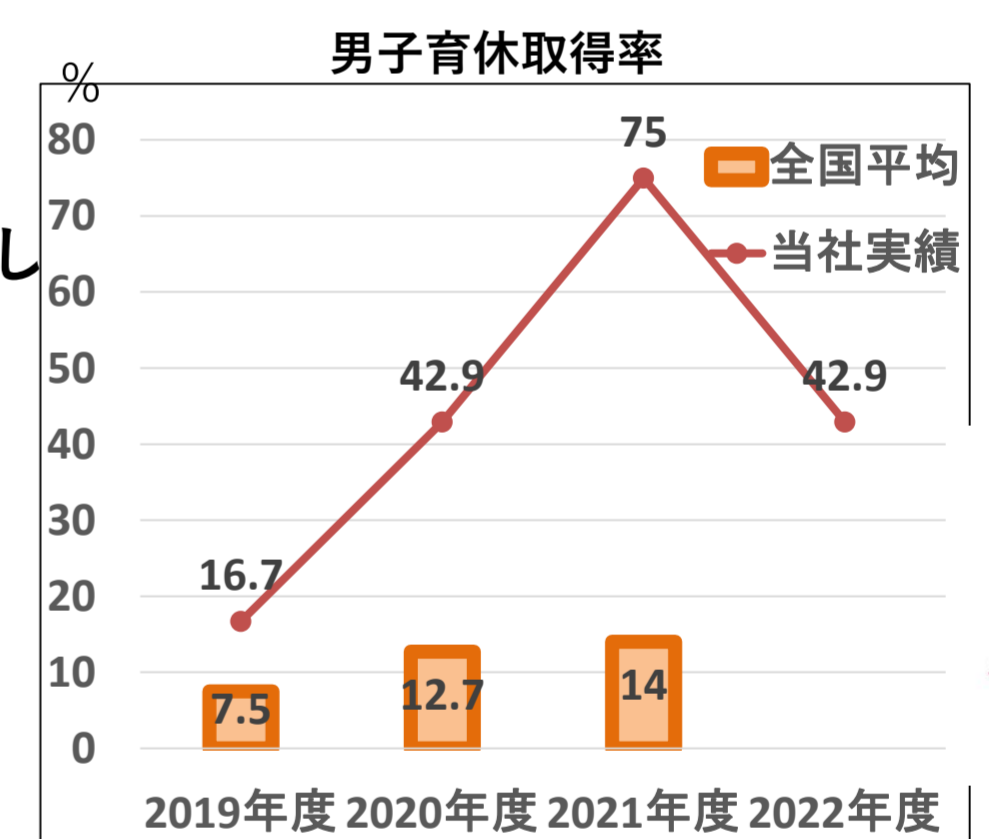


◆仕事と育児の両立

家庭での経験が、職場での多様性の理解を促し働き方を見直すきっかけになると考え仕事と育児の両立支援に積極的に取り組んでいます

◆年次有給休暇の取得促進

上長及び人事担当部門と共有し計画的に年次有給休暇を取得できるようにする。

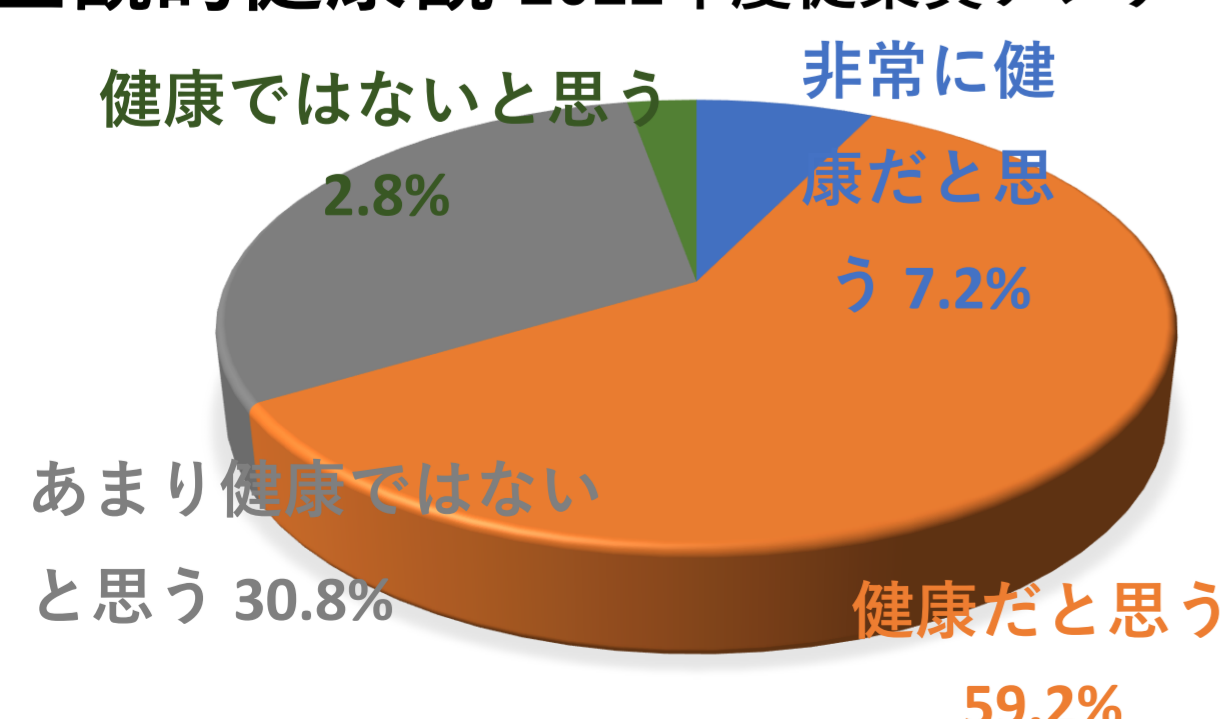


4月～	取得目標をアナウンスし、計画的な取得を促す。
9月～	取得状況が芳しくない従業員およびその上司に対し、取得を阻害する要因の有無を確認の上、計画的な取得を促す。
1月～	前年の取得状況を把握し、必要に応じて更なる取得促進に向けた施策を検討する。

4. 働き手の変化

■心と身体への健康づくり

主観的健康観 2022年度従業員アンケート



これまでの取組みによって様々な行動変容が認められる一方、従業員アンケートからも健康診断結果等の客観的指標だけでなく、主観的健康観を高めていくことも重要と考えております。

5. 経営者の所感

■健康経営宣言

新日本理化は、一人ひとりが心身ともに健康で、イキイキと活力ある働きがいのある職場づくりに組織全体で取り組むことを宣言します。



代表取締役社長 三浦 芳樹

従業員の成長と共に会社も持続的に成長し、もの創りを通して広く社会の発展に貢献していきます。



6. 今後の取組

新日本理化が目指す「健康」とは？

施策紹介と健康経営推進メンバーの思い

